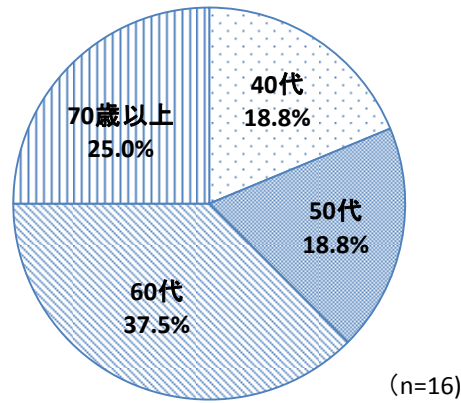
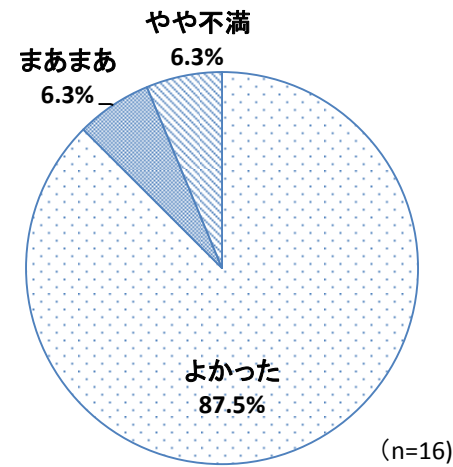


## 玉名市景観学習会 参加者アンケート結果

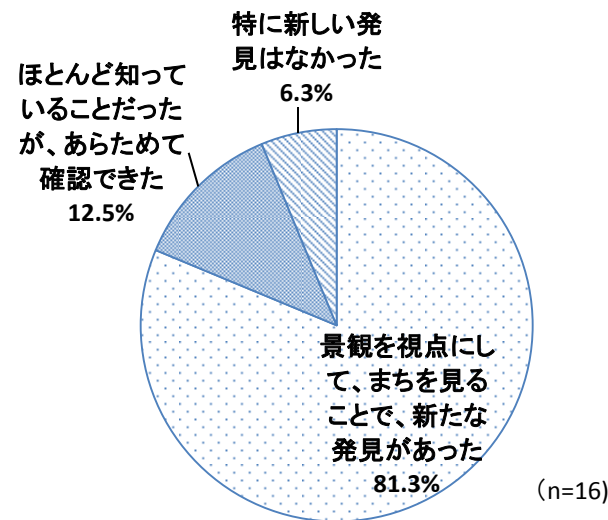
### 年齢



### 学習会全体の印象



### バスツアーについて



### 自由意見

- ・隠れた美しい景観がまだまだたくさんあります。
- ・玉名には素晴らしい風景がたくさん残されていることを知った。
- ・景観といえども人が必要というのを感じた。
- ・見学の季節（時期）を考慮。
- ・広報誌等で今後PRして欲しい。（地域の宝物）
- ・参加して良かったです。新しい発見がありました。玉名がまた好きになりました。
- ・人と景観の結びつきを実感した。
- ・多様で歴史の重なりを感じることができました。
- ・地域での取組みにより、管理されていること、今後の取組みについて。

# 玉名市 景観学習会だより 2号

発行：玉名市建設課 0968-75-1122

## 景観特性を探るバスツアー第2弾を開催！！

### プログラム

平成26年12月19日（金）  
13:30～17:00

1. 開会  
○主催者あいさつ
2. バスツアーの準備  
○グループ内の自己紹介  
○道具の説明と役割分担
3. 景観バスツアー（2時間程度）  
○市内の主要な箇所をバスでめぐります。
4. 景観バスツアーのまとめ  
○見てきた結果を、地図上にまとめます。
5. 発表
6. 閉会



玉名市では、平成26年度、平成27年度の2年をかけて、「玉名市景観計画」の策定に取り組んでいます。

そのため、玉名市では、市民のみさんと景観に対する認識を共有し、玉名市らしい景観のあり方を考える「景観学習会」を開催しています。

平成26年12月19日に、その第2回となる景観学習会を開催しました。今回は、第1回目で回れなかった、市の北部および南西部の景観を見て回る「景観バスツアー」を実施しました。

石貫穴観音横穴では、古墳を管理する方にお話をお聞きし、参加者からは「景観は様々な人々の努力によって守られているということを実感しました。」というご意見をいただきました。

この第1回、第2回の勉強会で、玉名市の主な景観資源を見て回りました。勉強会で得た成果を元に、今後の玉名市の景観のあり方を考え、景観計画にとりまとめていきます。





## 景観バスツアーのまとめ(抜粋)

- 大門さんの「よう、おいでなされました」
- 地域で守られている伝統
- 山里の景観がよい
- 横穴とそれを守る人の姿
- 屋敷のかたちが残っている
- 石貫穴観音横穴へ行く道は自然が残されている(田畑・小路)
- 石貫集落からの眺望(二ノ岳、三ノ岳が望める)
- わずか 9 軒の集落で国指定史跡を守ってこられたことがすごい
- 山里の景観がやすらぎと豊かさを作り出している
- 100 年を超える家や蔵
- 石貫穴観音の大きな門構えに白壁の土蔵は風情がある
- 山並みと田園風景がきれいだった
- ×石貫穴観音横穴の中のブロックが気になる
- ×スノコなどの板張りしたらどうだろうか
- ×ボランティアの協力で守り続けられないか
- ×途中の道案内がなく、場所がわからない
- ×標識が小さすぎる。道順も不明
- ×古墳の維持管理が高齢の方が多く大変
- ×市の方で管理費をやるべき

- 整備された堤防と雄大な山々
- 水源も大切
- 渡り鳥が景観にプラスをもたらしている
- 景観と共に水音が良い
- 公園の維持管理がきちんとされている
- ×白石堰源九郎公園岸の電線が景観の支障になっている
- ×電線が多い。電線ケーブルが目障り
- ×大牟田までの分水
- ×公園から崖で水際まで行けない(親水性がない)



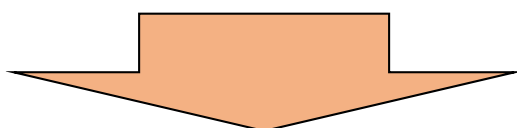
- 鎮守の森
- 藤の棚の管理
- 坊(土地割)が守られている
- 参道の「坊」が面白そう
- 藤の下を通るまっすぐな参道
- 参道の生垣
- 池に鯉が泳ぎ、水車が回っているのは参詣者を和ませる
- 神社全体が整備されていて公園化されている
- 山田の藤がよく管理されていて景観が良かった
- ×藤を支える柱などが目立つ(冬場)
- ×やっぱり、藤の季節に来たい
- ×藤棚の鋼管サポートが見苦しい

- 山ぎわの社、集落 昔物語が作れそう
- ×屋根の看板
- ×小田平野はとても魅力的なのに何とかアピールできないか

×池には散策、遊歩道を景観に配慮し整備したい

- 梅林天満宮の歴史あるたたずまい
- 国指定の登録文化財であり、建造物としてすばらしい
- 周辺の管理が良い
- 歴史を感じる。流鏝馬は大切に続けて欲しい
- ×参道、流鏝馬の行われている道
- ×参道脇の新幹線のコンクリート架橋は色彩でカバーが可能では
- ×天満宮をとりまく景観整備(梅の木の植栽)等が必要
- ×社殿の真ん中に新幹線。非常識と言わざるを得ない
- ×電柱・架線等が良好な景観を阻害している
- ×新幹線は仕方ないが周辺の集落と天満宮が結びついていなさそうなのが心配
- ×流鏝馬は有名だが、場所を知らなかった
- ×手水場、ギャラリー、手洗所が見苦しい

⑦ 鍋松原海岸  
玉名市岱明「磯の里」(ゴール)



今回も第1回のバスツアーと同様に市内には様々な景観資源があることがわかりました。  
一方で、維持管理の不足している場所や周辺のしつらえ、景観を守るためには、人々の努力が必要であることが見えてきました。

良い景観	気になる景観
<ul style="list-style-type: none"> <li>●歴史的な資源                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・梅林天満宮の歴史ある佇まい</li> <li>・流鏝馬</li> <li>・100年を超える家や蔵</li> <li>・日吉神社に至る参道の「坊」等</li> </ul> </li> <li>●自然景観、田園景観                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・菊池川上流の景観、渡り鳥</li> <li>・石貫からの二ノ岳、三ノ岳の眺望</li> <li>・山里の景観</li> <li>・鍋松原海岸からの眺望 等</li> </ul> </li> <li>●地区毎の努力                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で管理している石貫穴観音</li> <li>・源九郎公園の維持管理 等</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●案内不足                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・石貫穴観音横穴までの標識が小さく、道順も不明</li> <li>・梅林天満宮の流鏝馬の場所を知らない</li> <li>・鍋松原海岸までの交通アクセスが悪い等</li> </ul> </li> <li>●電線・電柱など                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・源九郎公園の電線</li> <li>・梅林天満宮から見える電柱・架線 等</li> </ul> </li> <li>●維持管理                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・石貫穴観音の維持管理。高齢の方が多い等</li> </ul> </li> <li>●工作物、屋外広告物                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・藤棚の鋼管サポートが見苦しい</li> <li>・石貫穴観音の横穴の中のブロック</li> <li>・屋根の看板 等</li> </ul> </li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●景観整備                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・梅林天満宮に梅の木を植栽する</li> <li>・梅林天満宮参道脇の新幹線のコンクリート架橋を色彩でカバーする</li> <li>・白石堰 公園から崖で水際まで行けない</li> <li>・浮田の池に散策、遊歩道を整備 等</li> </ul> </li> </ul>